

# 民主解党論

## 元副大臣も

民主党の中堅・若手議員で浮上した「解党論」が、保守系の党幹部クラスにも広がっている。

長島昭久・元防衛副大臣は14日、記者団に「野党結集のため、身を捨てる覚悟が必要だ」と述べ、解党すべきだとの考えを示した。

「一日も早く解党し、党派を超え、国民の常識ど真ん中に立脚した政策を掲げる健全な野党勢力を結集するしかない。そこでなければ、自公政権に代わる政権の受け皿づくりなど夢のまた夢だ」と書き込んだ。

民主党の解党や党名変更の案には、維新の党との合流を軸とした野党再編に勢いをつける狙いがある。3日に当選3回の岸本周平衆院議員らが岡田代表に要望して表面化し、今回、細野政調会長に近い長島氏が発信したことでも、党全体に影響する可能性がある。